






総務部 成果報告

総務部長 齊藤正直

部局達成度

| | | | | |
|---|---|---|---|--|
|  |  |  |  |  |
| - | 12 | - | 2 | 4 |
| - | 2 | - | 2 | 4 |

(うち未来づくり推進局分)

総括

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響がまだ続きましたが、行財政改革の更なる推進を図りつつ、北陸新幹線福井開業に向けての取組や人口減少・少子高齢社会にあっても活力ある地域づくりへの取組等を推し進めました。

はじめに、行財政改革の取組として、連携中枢都市圏市町職員合同研修の開催やデジタル化に関する研修機関への職員の派遣により、本市の将来を担う人材の育成を図るとともに、「福井市行財政改革指針」に掲げる36の取組の進行管理を行い、市民サービスの向上と事務効率化を図ることができました。

強靱な地域づくりに向けた取組として、「福井市国土強靱化地域計画」を改定し、計画内容の充実に努めました。今後は、計画に基づき各種施策を着実に実施し、「いかなる災害が起こっても機能不全に陥らない強靱な地域づくり」の実現に向けて取り組みます。

北陸新幹線福井開業に向けては、東京事務所を拠点に首都圏でシティプロモーション関連イベントを数多く実施するとともに、「福いいネ！」を活用して著名人とのコラボによる動画・ポスターの制作や、北陸新幹線沿線都市を巡るキャラバンPRなど、本格的に首都圏へのプロモーション活動を展開することができました。また、開業1年前イベントを開催し、市民の機運醸成を図りました。

人口減少に立ち向かう取組として、都市部人材と地元企業との連携による関係人口の創出、さらには、移住者の増加に向けた移住相談の実施や移住者への支援を着実に行いました。また、活力あるまちづくりとして、住民が主体となった各地区のまちづくり活動を支援し、地域の活性化や住民同士の連帯意識の醸成を図りました。

最後に、女性が輝く社会づくりの取組として、企業に対して、女性活躍の取組を可視化できるWEB診断システム「Fukurea」の活用促進を促すとともに、ワーク・ライフ・バランスセミナーや働く女性の交流会を開催し、女性が働きやすい職場環境づくりに取り組みました。また、「婚活スクール」を開校し、若者の結婚意識を高める取組を実施しました。

来年度は、いよいよ北陸新幹線福井開業を迎えます。開業効果を最大限に高め、本市が活力あふれるまちとなるよう、引き続き、目標達成に向けて各種施策に取り組んでいきます。

組織目標ごとの達成状況

I. 「質の高い行政経営」の実現に向け、行財政改革を推進するとともに、社会の変化に対応した行政サービスの見直しに取り組みます

「福井市行財政改革指針（令和4～8年度）」に掲げる全36の取組のうち、「デジタル化による市民サービスの向上」や「文書事務の電子化の推進」など34の取組で目標を達成し、市民サービスの向上と事務効率化を図ることができました。

今後は、行政改革推進委員会での意見等をふまえ、未達成となった取組の検証及び評価のあり方の研究を行うとともに、全ての取組で目標を達成できるよう適切な進捗管理を行っていきます。

職員の人材育成においては、連携中枢都市圏市町職員合同研修を実施し、高度かつ実務的な政策形成スキルを習得することができたほか、人事交流等を通じて幅広い視点で地域課題を把握する力を養うなど、本市の将来を担う人材の育成を図ることができました。

また、職員数の適正化に向けた取組においては、今後の行政需要を見極め、計画的な採用を行う中で、令和5年度は、福井市定員適正化計画及び福井市財政計画に掲げた職員数を7人下回る職員配置となる見通しとなりました。今後も適正な定員管理を行っていきます。

II. 強靱な地域づくりの推進に向け、「福井市国土強靱化地域計画」を改訂します

福井市国土強靱化地域計画の改訂にあたっては、関係部局の次長等で構成する「策定検討会」及び有識者等で構成する「検討委員会」での議論を通じて、計画内容の充実に努めました。

今後は、改訂した計画に基づき各種施策を着実に実施するとともに、計画内で設定した重要業務指標（KPI）の進捗管理を通して、国土強靱化の理念である「いかなる災害が起こっても機能不全に陥らない強靱な地域づくり」の実現に向けて取り組みます。

III. 人口減少・少子高齢化社会にあっても活力ある社会経済を維持するため、連携中枢都市圏ビジョンに掲げる取組を進めます

連携中枢都市圏ビジョンに掲げる56の取組について、概ね予定どおりの進捗を図ることができました。

また、令和6年4月を始期とする第2期ビジョンの策定に向け、各ワーキンググループで検討した取組内容を基に方向性を定め、連携推進協議会（首長会議）において合意形成を図りました。

今後も、「圏域で取り組む」という視点を意識して連携事業を推進するとともに、第2期ビジョンの策定に向けて遅滞なく準備を進めていきます。

IV. 地域の自主性を発揮し活性化を図るため、地方分権の推進に取り組みます

全庁に対する提案の掘り起こしに努めた結果、提案件数が4件となり計画を達成しました。

今後も引き続き、職員に対する研修などを通じて、提案募集方式の制度周知や理解促進を図りながら、職員が日々の業務の中で直面した支障事例などを積極的に提案できる環境を整えていきます。

V. 一人ひとりの人権が尊重される地域社会の実現に向け、各種啓発事業を実施します

年間を通して、様々な人権問題に関する講習会や研修会、その他啓発活動を実施し、人権意識の高揚と人権に関する知識の向上を図りました。

また、SDGsやLGBTQなど、人権に対する近年の社会的関心の高まりをふまえ、本市の人権啓発事業の取組を紹介するパネル展の実施や、LGBTQ啓発CMの制作を行うなど、市民の人権意識の醸成に努めました。今後も人権の理解促進と啓発に係る取組を進めていきます。

VI. 市民に分かりやすい情報発信を行うとともに、「ふくい」の魅力を積極的に発信します

職員の広報力の向上に取り組むとともに、広報紙やホームページの他、様々な広報媒体を相互に連動させることで、市政情報や本市の魅力等を効果的に発信し、クロスメディア件数（広報媒体間の連動件数）の目標を達成することができました。

今後は、ホームページを更新時期に合わせて見直し、広報媒体間の連携を更に強化するとともに、情報を必要とするすべての人に確実に届く情報提供を目指します。

VII. 東京事務所を拠点に、市政に関する情報収集、首都圏での本市の観光や食、住みよさ等の情報発信による観光誘客やU・Iターン等を積極的に推進します

北陸新幹線福井開業に向け、首都圏でのシティプロモーション活動に積極的に取り組んだ結果、イベントの実施回数及び全国メディア発信回数の目標を達成することができました。

また、福井市応援隊事業では、3年ぶりに総会を開催したところ、約100名の参加があり、会員相互の交流が図られました。異業種交流会では、首都圏ばかりでなく福井や他地域からの参加があり、関係人口の増加にもつながりました。

来年度はいよいよ北陸新幹線福井開業の年を迎えることから、県や他市町、関係団体等と連携し、首都圏での認知度及びイメージの向上など、引き続きシティプロモーション活動に強力に取り組めます。

VIII. (I) 人口減少に立ち向かうため、福井への新しい人の流れの創出・拡大に取り組めます

都市部人材と地元企業が連携して行う事業創造や二地域活動・二地域居住につながる取組への支援等に取り組んだ結果、関係人口に関する目標を達成することができました。

移住者の増加に向けては、支援制度の充実を図り、首都圏を中心に本市の魅力発信に取り組みましたが、U・Iターン者数について目標を達成することができませんでした。今後は、本市の魅力を強力に発信するとともに、移住後の不安や悩みの解消などトータル的なサポートを行うことで、移住定住を促進していきます。

ふるさと納税では、ポータルサイトでの有料広告をはじめ、東京都内でのPR活動など、様々な取組に努めたものの、寄附者数及び寄附金額の目標を達成することができませんでした。今後は、委託先の民間事業者と連携し、返礼品登録事業者の発掘や寄附に繋がりやすい定期便などの返礼品の開発、ポータルサイトの画像やページ構成などの見直し等により、寄附件数及び寄附金額の増加に努めていきます。

IX. (II) 地域の特色を活かした住民主体のまちづくり活動を支援し、活力ある地域社会づくりを進めます

地域の未来づくり推進事業では、4地区が新たに地区ビジョンの策定に取り組み、うち1地区が年度内に完成したものの、3地区についてはコロナ禍で協議を十分に行うことができず、ビジョン策定地区数の目標を達成することができませんでした。

今後は、策定中の3地区はもちろん、未策定地区への呼びかけや、ビジョン策定に向けた助言等の支援を行うことで、地域のまちづくり活動の活性化を推進していきます。

自治会加入促進については、未加入世帯への加入啓発として、新規加入者への粗品進呈や標語を用いたポスター掲示に取り組んだものの、国・県の官舎や市営住宅の取り壊しに伴う自治会の廃止もあり、目標を達成することができませんでした。

今後も、自治会長と連携し、未加入世帯に直接加入を呼びかけるなど、更なる加入促進活動に努めます。また、自治会活動のデジタル化を進め、役員等の負担軽減や自治会活動の効率化を進めていきます。

X. (III) 北陸新幹線福井開業に向けて、「ふくい」の認知度向上やイメージアップに取り組みます

イメージロゴ「福いいネ！」を活用して、動画・ポスターの制作や沿線都市を巡るキャラバンPRなど、積極的に首都圏等へのプロモーション活動を推進し、認知度向上やイメージアップに取り組みましたが、新型コロナウイルスの影響により福井駅の乗降者数が伸び悩むなど、目標を達成することができませんでした。

市民等への機運醸成の促進については、各種イベントや出前講座など、様々な機会を捉えて、北陸新幹線福井開業のPRを行うとともに、おもてなし活動を担うボランティアグループやまちづくり団体、企業、地域住民など、様々な方々との個別ミーティングやイベントでの連携を図り、目標を達成しました。

来年度は、福井開業に向けた総仕上げの年であり、様々な機会をとらえて首都圏等への情報発信を行うとともに、節目節目でカウントダウンイベントを実施し、市民と一体となって開業に向けた機運を高めていきます。



XI. (IV) 女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現及び若者の結婚への意識向上に向けた取組を進めます




「女性活躍応援事業」では、企業向けにワーク・ライフ・バランスセミナーの開催や働く女性の交流会等の開催の他、女性活躍などの取組を可視化できるWEB診断システム「Fukurea」の導入を積極的に促しましたが、「fukurea」の導入企業数の目標を達成することはできませんでした。今後は、今年度作成したリーフレット等を活用し、子育て応援ファミリー企業等、更に勧誘を進めていきます。



地域においては、各地区の男女共同参画推進員の啓発活動を通じて、女性の地域活動への参画意識を高めることで、地域組織や市の審議会など、政策・方針決定過程への女性の参画拡大を図りましたが、目標までには至っていないため、引き続き、地域活動への女性参画拡大へ向けて、積極的に取り組んでいきます。






また、若者の結婚への意識向上においては、婚活講座と婚活イベントを実施する「婚活スクール」を開校し、出会いから結婚までの一貫した支援に努めました。さらに、「結婚っていいネ！魅力発信事業」により、若者が結婚に前向きなイメージが持てる意識醸成を図りました。今後も、出会いから結婚に至るまでの総合的な支援、結婚に対しての前向きな意識醸成の取組を強化していきます。

I. 「質の高い行政経営」の実現に向け、行財政改革を推進するとともに、社会の変化に対応した行政サービスの見直しに取り組みます





| | | | | |
|---------------------------------------|---|---|-----|---|
| 1 | 行財政改革の更なる推進 |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | |
| 行動目標 | 行財政改革の更なる推進のため、「福井市行財政改革指針（令和4～8年度）」に掲げる取組の適切な進行管理を行います。 | | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○「福井市行財政改革指針（平成29～令和3年度）」に係る令和3年度取組結果及び5年間の総括 ○「福井市行財政改革指針（令和4～8年度）」に係る令和4年度取組の進行管理 <ul style="list-style-type: none"> ・全体部長会議（4月28日） 取組結果及び計画の報告 ・第1回行政改革推進委員会（6月2日） 取組結果及び計画の報告 ・取組状況に関する所属調査の実施（9月・12月） ・第2回行政改革推進委員会（2月17日） 令和4年度取組結果（見込み）についての意見聴取 ・年度末調査及び結果に対するヒアリング（3～4月） ○財政再建の実施状況について専門家からの助言等を受けるため、「財政健全化専門部会」を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回財政健全化専門部会（10月26日） ・第2回財政健全化専門部会（3月24日） | | | |
| 指 標 | | | | |
| 計 画 | | 結 果・成 果 | | |
| 「福井市行財政改革指針（令和4～8年度）」に掲げた取組の達成度：90%以上 | | 「福井市行財政改革指針（令和4～8年度）」に掲げた取組の達成度：94.4% | | |
| 成果・課題 | <p>「福井市行財政改革指針（令和4～8年度）」に掲げる全36の取組のうち、「デジタル化による市民サービスの向上」や「文書事務の電子化の推進」など34の取組で目標を達成し、市民サービスの向上と事務効率化を図ることができました。（34/36：94.4%）</p> <p>一方、「女性職員のキャリア形成の促進」では女性管理職比率について、「ふるさと福井の応援者・応援企業を増やすとともに、寄附額の増収を図る」ではふるさと納税の寄附金額及び寄附者数について、目標達成には至りませんでした。</p> <p>今後は、行政改革推進委員会での意見等をふまえ、未達成となった取組の検証及び評価のあり方の研究を行うとともに、全ての取組で目標を達成できるよう適切な進捗管理を行っていきます。</p> | | | |

| | | | | | |
|--|---|--|---|-----|---|
| 2 | 職員の人材育成 |  |  | 達成度 |  |
| 実 行 内 容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>時代の変化に対応できるよう、効果的に政策立案を進めるため、政策形成スキルの向上を図ります。また、行政のデジタル化を着実に進めるため、研修専門機関への派遣を強化します。職員が受講しやすくなるようオンライン形式での研修にも積極的に取り組みます。</p> | | | | |
| 取組内容 | <p>○研修受講</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくい嶺北連携中枢都市圏事業「政策形成能力向上研修」の実施 受講者：18名 (内訳) 福井市12名、坂井市2名、大野市1名、勝山市1名、あわら市1名、越前町1名 テーマ：①経済活性化・産業振興、②医療・福祉、③教育・文化振興、④まちづくり・交通政策 期間等：7月22日～10月26日・8回開催 ・階層別研修、テーマ研修 受講者計：1,375名 ※うちオンライン形式 パワーアップ研修(オンライン形式) 5回 ・DXをテーマとした研修専門機関への派遣研修 5回 市町村職員中央研修所(JAMP) 1回(研修期間5日間) 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 3回(研修期間3日間/回) 自治大学校 1回(研修期間3日間) ・その他、研修専門機関(JAMP、JIAM、国土交通大学校)への派遣研修 20回 | | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計 画 | | | 結 果・成 果 | | |
| <p>連携中枢都市圏市町の職員合同による 政策課題研修の開催 デジタル化に関する研修・研修機関への派遣回数 ：1回(3年度)→5回(4年度)</p> | | | <p>連携中枢都市圏市町の職員合同による 政策課題研修の開催 デジタル化に関する研修・研修機関への派遣回数 ：5回</p> | | |
| 成果・課題 | <p>連携中枢都市圏市町職員合同の研修においては、高度かつ実務的な政策形成スキルを習得することができたほか、人事交流等を通じて幅広い視点で地域課題を把握する力を養うなど、本市の将来を担う人材の育成を図ることができました。</p> <p>今後は、他市町職員の負担軽減を図りつつ、研修内容の充実等によって参加市町を増やし、連携中枢都市圏事業としての効果や価値を高めることが必要です。また、中核市職員に相応しい資質や能力を備えた人材の育成を促進する観点から、本市職員と構成市町の職員とがより一層切磋琢磨する環境を創出するため、ふくい嶺北連携中枢都市圏第2期ビジョンにおいて事業内容の拡充を図ります。</p> <p>他方、DX推進に向けた職員の意識の醸成とスキルの向上はますます重要性を増しており、その機運等を組織全体に波及・浸透させるため、来年度も引き続き研修専門機関への派遣を実施します。</p> | | | | |



| | | | | |
|--|---|---|-----|---|
| 3 | 職員数の適正化に向けた取組 |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | |
| 行動目標 | <p>今後の行政需要やDXの推進を踏まえた効率的な組織・職員体制、定年延長制度を考慮した計画的な職員採用等によって、職員数の適正化を図り、福井市財政計画(令和4～8年度)を着実に実行します。</p> | | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○職員配置計画に基づく計画的な職員採用 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度職員配置計画の策定(4月) ・職員配置計画に基づく職員の募集・採用事務(5月～11月) ○定年引上げに係る制度設計及び例規の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・所属長や対象者へのアンケート等に基づく制度設計(4月～6月) ・関係条例の改廃案を市議会定例会に提出(9月) ○各部局からの報告等に基づく事務分掌・組織の再編に関する検討(10月～) ○定年引上げに係る情報提供及び意向確認(11月) ○職員配置及び来年度以降の事務事業計画に関する職員課長ヒアリング(1月～) ○人事異動及び昇任選考等を通じて級別職員数の適正化を実施(1月～) ○令和6年度職員配置計画の作成作業(3月～) | | | |
| 指 標 | | | | |
| 計 画 | | 結 果・成 果 | | |
| 福井市定員適正化計画(平成30～令和4年度) による令和5年4月1日時点の職員数：2,268人 (平成30年4月1日時点の職員数：2,372人) | | 福井市定員適正化計画(平成30年度～令和4年度)に よる令和5年4月1日時点の職員数：2,261人 | | |
| 成果・課題 | <p>今後の行政需要の変化を見極め、計画的な職員採用を行う中で、令和5年度は、福井市定員適正化計画改訂版及び福井市財政計画に掲げた職員数を7人下回る職員配置で行政運営を行う見通しとなりました。</p> <p>また、インターンシップやオンラインを活用したセミナーを開催するなどの創意工夫により、受験者目線の情報発信に努めることで、本市が求める人材の確保ができました。</p> <p>今後も、行政需要の変化に応じた職員数の確保と適材適所の人員配置が、超過勤務の縮減や組織全体の生産性の向上に繋がることを十分に認識しながら、適正な定員管理を行っていきます。</p> <p>特に、令和5年度から新たに定年引上げ制度が導入されますが、年齢構成の平準化を図りながら活力ある組織体制を維持していくため、新規採用者数の平準化を基本に、より一層計画的な職員採用に努めていきます。</p> | | | |

| | | | | | |
|---|--|--|---|------------|---|
| 4 |  文書決裁の電子化の推進  |  |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>文書事務の電子決裁の推進、押印省略の推進、電子化された文書の保存基準を見直すこと等により、文書事務の電子化、効率化及びペーパーレス化を促し、行政事務の更なる効率化を図ります。</p> | | | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○電子決裁推進の呼びかけ 庶務担当説明会(4月12日)、庁内掲示版(4月18日) 初等科研修(5月27日)、所属長研修会(6月2日) 公文書管理に関する講義(1月18日)、DX推進会議(10月11日) 等 ○電子化に向けた関係所属協議 随時開催(情報統計課、出納課、総合政策課等) ○押印見直しの実施調査(4月15日)、ホームページ(申請等の押印一覧)の更新(5月18日) ○内部文書の押印省略の調査(11月1日)及び実施依頼(2月16日) ○電子決裁実施に係る文書管理システムガイドラインの見直し <ul style="list-style-type: none"> ・全庁調査(9月22日) ・全庁調査の結果分析及び検討(11月) ・ガイドラインの更新・職員への周知の準備(3月) ○文書(電磁的記録)の保存・廃棄ルールの検討 | | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計画 | | | 結果・成果 | | |
| 公文書の電子決裁比率： 5.8% (3年度) → 12.0% (4年度) | | | 公文書の電子決裁比率：18.2% | | |
| 成果・課題 | <p>電子決裁の実施については、昨年度に比べ大幅に増加しており、順調に推移している。</p> <p>しかしながら電子決裁・電子供覧を全く利用していない所属があるなど完全実施までの課題は多い。令和5年度早期の施行に向けて、見直したガイドラインの周知を図るとともに、引き続き電子決裁・電子供覧の実施を呼びかけていく。</p> <p>また、押印省略については、引き続き申請書等の実施状況の調査及び公表に加えるとともに、新たに庁内の内部手続についても現況調査を行い、省略可能な手続について押印省略を推進した。</p> | | | | |




II. 強靱な地域づくりの推進に向け、「福井市国土強靱化地域計画」を改訂します

| | | | | | |
|-----------------|--|--|---|-----|---|
| 5 |  福井市国土強靱化地域計画の改訂 |  |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>いかなる災害が起こっても機能不全に陥らない、強靱な地域づくりを推進するため、福井市国土強靱化地域計画を改訂します。</p> | | | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○第2回策定検討会（5月16日） 関係次長等により庁内案の決定 ※第1回策定検討会は令和4年2月15日に開催済み ○第1回検討委員会（7月5日） 外部委員により庁内案について検討 ○第2回検討委員会（10月6日） 外部委員により庁内案について検討 ○全体部長会議（10月31日） 素案の決定 ○議会に対する説明（11月下旬） ○パブリック・コメントの実施（12月1日～21日） ・意見提出者 1人 ・意見数 6件 ○全体部長会議（2月3日） 計画の改訂 | | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計 画 | | | 結 果・成 果 | | |
| 福井市国土強靱化地域計画の改訂 | | | 福井市国土強靱化地域計画の改訂 | | |
| 成果・課題 | <p>福井市国土強靱化地域計画の改訂にあたっては、関係部局の次長等で構成する「策定検討会」及び有識者等で構成する「検討委員会」での議論を通じて、計画内容の充実に努めました。</p> <p>また、パブリック・コメントの実施により、市民から幅広く意見を募集しました。</p> <p>今後は、改訂した計画に基づき各種施策を着実に実施するとともに、計画内で設定した重要業績指標（KPI）の進捗管理を通して、国土強靱化の理念である「いかなる災害が起こっても機能不全に陥らない強靱な地域づくり」の実現に向けて取り組みます。</p> | | | | |






Ⅲ. 人口減少・少子高齢化社会にあっても活力ある社会経済を維持するため、連携中枢都市圏ビジョンに掲げる取組を進めます

| | | | |
|--|---|---|--|
| 6 | 連携中枢都市圏の推進 |  | 達成度  |
| 実行内容 | | | |
| 行動目標 | <p>連携中枢都市圏ビジョンに掲げる取組を推進するため、有識者で構成する連携中枢都市圏ビジョン懇談会の意見等を踏まえながら適切な進捗管理を行うとともに、圏域の更なる発展につなげるため、ビジョンの改訂を行います。</p> <p>また、第2期連携中枢都市圏ビジョン（令和6年度～）策定に向け、素案を取りまとめます。</p> | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○各ワーキングの開催及び連携事業の実施（4月～） ○事業の進捗管理（4月～） <ul style="list-style-type: none"> ・各連携事業の年間計画及び目標値等の把握 ○連携中枢都市圏ビジョンの改訂作業（4月～） ○ワーキング責任者会議（4月14日） <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキング責任者の役割の確認及び事業進捗状況の報告を依頼 ・第2期ビジョン策定に係るスケジュールの共有 ○ふくい嶺北都市圏連携推進協議会幹事会（4月22日） <ul style="list-style-type: none"> ・各市町政策担当課の役割の確認 ・第2期ビジョン策定に係るスケジュールの共有 ○ふくい嶺北都市圏連携推進協議会幹事会（12月19日） <ul style="list-style-type: none"> ・第2期ビジョンの素案及び今後の策定日程の確認 ○ふくい嶺北都市圏連携推進協議会（3月29日） <ul style="list-style-type: none"> ・第2期ビジョン（素案）の合意形成 ○ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン懇談会（3月30日） <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンの推進に関する意見及び助言の聴取 | | |
| 指 標 | | | |
| 計画 | | 結果・成果 | |
| 取組の進捗を踏まえた ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンの改訂 第2期連携中枢都市圏ビジョン素案の策定 | | 取組の進捗を踏まえた ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンの改訂 第2期連携中枢都市圏ビジョン素案の策定 | |
| 成果・課題 | <p>各ワーキングでは、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じた上で、オンラインの活用や時間の短縮などの工夫を凝らしながら事業を推進し、概ね予定どおりの進捗を図ることができました。</p> <p>また、令和6年4月を始期とする第2期ビジョンの策定に向け、各ワーキングで検討した取組内容を基に方向性を定め、連携推進協議会（首長会議）において合意形成を図りました。</p> <p>今後も、「圏域で取り組む」という視点を意識して連携事業を推進するとともに、第2期ビジョンの策定に向けて遅滞なく準備を進めていきます。</p> | | |



IV. 地域の自主性を発揮し活性化を図るため、地方分権の推進に取り組みます

| | | | |
|----------------|---|---|---|
| 7 | 地方分権の推進 |  |   |
| 実行内容 | | | |
| 行動目標 | 個性を活かし自立したまちづくりを進めるため、権限移譲や規制緩和について国に提案を行う提案募集制度を活用し、積極的に地方分権の推進を図ります。 | | |
| 取組内容 | <p>○全体部長会議（4月） 全庁に向けて提案の提出を依頼</p> <p>○内閣府に対し4件（次の①～④）を提案（5月）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①林地台帳の作成・更新に関する事務について住民基本台帳ネットワークシステムを利用可能とする見直し</p> <p>②地方税法に基づく登記所から市町村長への通知に係るオンラインによる提供について市町村の林務部局でも提供を受けることを可能とすること及び相続登記義務化に伴う森林土地所有者の変更届出の見直し</p> <p>③二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金に係る交付決定前の事業着手の実現及び建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)に関する手続の簡素化</p> <p>④放課後等デイサービス事業所の支援の質の向上に向けた新たな評価制度の創設及び市街地から離れた地域に立地する事業所に対する加算措置の設定</p> </div> <p>○本提案の決定（6月） 内閣府との協議の結果、本市提案4件のうち2件（①②）が本提案につながる</p> <p>○重点事項の決定（7月） 本提案を行った案件①が、有識者会議の専門部会で集中的に審議を行う重点事項の対象となる</p> <p>○職員研修会（7月27日） 内閣府から講師を招聘し、主査4年目職員を対象に研修を実施</p> <p>○令和4年提案に対する国の対応方針の閣議決定（12月）</p> <p>○全体部長会議（2月） 令和4年の提案結果を報告し、令和5年の提案の提出を依頼</p> | | |
| 指 標 | | | |
| 計 画 | | 結 果・成 果 | |
| 提案募集方式による提案：4件 | | 提案募集方式による提案：4件 | |
| 成果・課題 | <p>全庁に対する提案の掘り起こしに努めた結果、提案件数が4件となり計画を達成しました。今後も更なる地方分権を推進するため、国に対して提案を行う提案募集方式を積極的に活用していく必要があります。</p> <p>引き続き、職員に対する研修などを通じて、提案募集方式の制度周知や理解促進を図りながら、職員が日々の業務の中で直面した支障事例などを積極的に提案できる環境を整えていきます。</p> | | |




V. 一人ひとりの人権が尊重される地域社会の実現に向け、各種啓発事業を実施します

| | | | | | |
|--|---|--|--|-----|---|
| 8 | 人権尊重意識の啓発 |  |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | 一人ひとりの多様性や、人権が尊重され、誰もが活躍できる地域社会の実現に向け、広報紙やホームページによる啓発に加え、人権擁護委員による相談、関係所属や国、県、人権擁護委員等と連携したイベント等の実施により、人権尊重意識の涵養や知識の向上を図ります。 | | | | |
| 取組内容 | <p>○講習会・研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な性的指向や性自認への理解促進のための研修会（7月27日[教員]、11月19日[一般]）【女性活躍促進課】 ・～人権を学ぶワークショップ～5年後の「あたりまえ」を考えよう！（8～9月）【総合政策課】 ・多文化共生職員研修会（9月28日）【国際室】 ・心のバリアフリー教室（9～11月）【障がい福祉課】 ・福井市権利擁護講演会（11月12日）【障がい福祉課・地域包括ケア推進課】 ・DV防止啓発研修会（10月3日[専門学生]、12月18日[一般]）【女性活躍促進課】 <p>○その他啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の花運動（西藤島小、旭小、文殊小、清水北小、足羽小、長橋小、一乗小、岡保小）（6～7月）【市民サービス推進課】 ・福井市民福祉大会での啓発チラシ配付（9月30日）【福祉政策課】 ・グローバルフェスタ（多文化祭）（10月2日）【国際室】 ・児童虐待防止啓発推進月間での街頭啓発やパネル展（11月）【子ども福祉課】 ・人権啓発作品展（12月）【市民サービス推進課】 ・人KENハートフルフェスタ（12月）【市民サービス推進課】 ・人権啓発パネル展（12月）【総合政策課】 ・拉致・特定失踪者問題の早期解決を願う福井県集会の共催（12月）【総合政策課】 ・情報誌「アイアム」の発刊【女性活躍促進課】 ・LGBTQ啓発CMの制作【女性活躍促進課・総合政策課】 <p>○情報共有・事業調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権施策推進会議（4月26日） | | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計画 | | | 結果・成果 | | |
|  19 「人権教育・啓発推進計画」に基づき実施した本市主催事業の実施件数 ：16件（3年度）→ 20件（4年度） | | |  19 「人権教育・啓発推進計画」に基づき実施した本市主催事業の実施件数 ：16件（3年度）→ 20件（4年度） | | |
| 成果・課題 | <p>人権擁護委員や関係機関と連携して、人権に対する理解促進に取り組みました。また、人権擁護委員の協力により、相談業務のほか、小学生とともに「人権の花」を植える「人権の花運動」などの人権啓発活動が行われました。今後も連携により人権の理解促進と啓発に係る取組を進めていきます。</p> <p>さらに、若い世代の人権意識の醸成と担い手育成を図るため、学生を対象とした人権ワークショップを開催しました。参加者に行ったアンケートでは、ワークショップを通して「視野が広がった」「学びがあった」などの感想が述べられ、担い手として継続的に関わることにも意欲が示されました。</p> <p>加えて、SDGsやLGBTQなど、人権に対する近年の社会的関心の高まりをふまえ、市役所市民ホールにて本市の人権啓発事業の取組を紹介するパネル展の実施や、LGBTQ啓発CMの制作を行うなど、市民の人権意識の醸成に努めました。</p> | | | | |




VI. 市民に分かりやすい情報発信を行うとともに、「ふくい」の魅力を積極的に発信します

| | | | | |
|---|--|---|-----|---|
| 9 | 分かりやすい伝わる情報の発信 |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | |
| 行動目標 | <p>広報紙・テレビ・ラジオ・ホームページ・SNSなどの多様な広報媒体を複合的に活用し、市政の主要施策や地域・市民活動に関する情報、「ふくい」の魅力をより広く効果的に発信していきます。広報課職員のみならず、全職員の「広報力」を向上させることで、市民ニーズに即した的確で分かりやすい情報発信に努めるとともに、報道機関への情報提供にも積極的に取り組みます。</p> <p>また、北陸新幹線福井開業を見据え、市民を巻き込んだ効果的な情報発信に取り組むなど、「ふくい」の魅力を市内外に向けて広く発信していきます。</p> | | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○広報紙（広報ふくい）発行 22回 ○テレビ・ラジオ広報番組 民放テレビ8本、ケーブルテレビ60本、ラジオ418本 ○ホームページ・SNS（LINE、YouTube、Facebook、Twitter）での情報発信 ○市長記者会見（重要政策等の情報発信）7回 ○各所属から報道機関への情報提供（1,210件） ○「広報力」向上のための職員研修等 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者別研修、説明会 庶務担当者（4月）、各部局広報責任者（5月）、入庁2年目職員（5月） ・ホームページ研修（中級・初級）（8月） ・スキルアップ研修（ふくい嶺北連携中枢都市圏事業）ホームページ関係8月、広報紙関係11月 ○広報アドバイザー事業（職員対象） <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイス動画の視聴（8月）、各所属への助言（9月～3月）、広報コンクール（3月） ○全所属によるホームページ掲載内容の確認（9月） ○ふくチューバー養成講座（6月～2月）修了生4名 発信動画20本 ○東日本連携・創生フォーラムによる広報紙連携事業（6市町の広報紙で相互掲載） ○広報モニターによる意見交換会（10月、3月） | | | |
| 指 標 | | | | |
| 計 画 | | 結 果・成 果 | | |
| クロスメディア件数（広報媒体間の連動件数） : 531件（3年度）→ 1,800件（4年度） | | クロスメディア件数（広報媒体間の連動件数） : 1,820件 | | |
| 成果・課題 | <p>多くの方に、市政情報や本市の魅力等を効果的に伝えるため、広報紙やホームページへの掲載だけでなく、報道機関への情報提供、LINEやYouTube等のSNS、テレビ番組等を積極的に活用し、クロスメディア（広報媒体間の連動）を意識した発信に取り組みました。</p> <p>また、福井の魅力を発信する市民を「ふくチューバー」として養成する講座や、東日本の新幹線沿線自治体による広報紙の相互掲載に取り組み、全国に向け福井のPRを行いました。</p> <p>職員の広報力の向上のため、各種研修の他、広報アドバイザーを活用し、実務の中で技術力の習得や広報マインドの醸成にも取り組みました。</p> <p>来年度は、ホームページを更新時期に合わせて見直し、広報媒体間の連携を更に強化するとともに、情報を必要とするすべての人に確実に届く情報提供を目指します。</p> | | | |

組織目標Ⅶ 東京事務所を拠点に、市政に関する情報収集、首都圏での本市の観光や食、住みよさ等の情報発信による観光誘客やU・Iターン等を積極的に推進します

| | | | | | |
|---|--|--|---|-----|---|
| 10 | ふくいの魅力を首都圏へ発信 |  |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>北陸新幹線福井開業に向け、首都圏における本市のシティプロモーション活動の拠点として、県及び担当部署や関係団体との連携を強化し、観光誘客に強力に取り組みます。 また、企業誘致、地場製品の販路拡大やふるさと納税を推進し、本市の認知度向上及びイメージアップに取り組みます。 併せて、「福井市応援隊」の会員を対象にしたイベントの開催や、SNS、メールマガジンでの情報提供を通して会員に首都圏でのPR役を担っていただき、本市の関係人口の増加につなげます。</p> | | | | |
| 取組内容 | <p>○主なシティプロモーション活動</p> <p><新しい取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラ・ピスタ新橋「福井おいしいもの店」開催 ・「全国自治体連携マルシェ in 港区立プラタナス公園」参加 ・霞が関コモンゲートで福井の食、観光PR ・東京ガス本社社員食堂で福井の食材提供 ・イオンスタイル品川シーサイドで福井市観光PR <p><福井市の特産品や食材を販売する物産展></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上野マルイ・横浜マルイシティ・大宮マルイ・新宿マルイ・丸井吉祥寺店、日本橋三越、大正製薬本社、葛西臨海公園水仙まつり <p><福井市食材を使用したメニュー提供></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井美食フェア（首都圏78店舗）、みずほ銀行本店社員食堂、キリンシティ <p><新幹線プロモーション関連イベント> 10回</p> <p>○福井市応援隊事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの開催（4回） ・サポーター企画、オンライン酒蔵紹介、総会、異業種交流会、会員へのメールマガジン配信（毎月） <p>○U・Iターンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提携大学等への訪問（共立女子大学、駒沢大学、青山学院大学、法政大学）、移住促進フェアへの参加 | | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計画 | | | 結果・成果 | | |
| <p>「福井市応援隊」会員数 ：823人（3年度）→ 900人（4年度）</p> <p>全国メディア発信回数 ：20回（3年度）→ 25回（4年度）</p> <p>シティプロモーション関連イベントの実施 ：22回（3年度）→ 30回（4年度）</p> | | | <p>「福井市応援隊」会員数：900人</p> <p>全国メディア発信回数：35回</p> <p>シティプロモーション関連イベントの実施：30回</p> | | |
| 成果・課題 | <p>シティプロモーション活動に積極的に取り組んだ結果、目標を達成することができました。</p> <p>福井市応援隊事業では、新型コロナウイルス感染対策をしっかりと講じながら3年ぶりに総会を開催したところ約100名の参加があり、会員相互の交流が図られました。異業種交流会は、北陸新幹線福井開業により地域をまたぐ新しい働き方、暮らし方が現実的になることから二拠点生活等をテーマに開催したところ、首都圏ばかりでなく福井や他地域からの参加があり、関係人口の増加にもつながりました。本市のファンをさらに増やし、福井と首都圏のつながりを強めることに努めます。</p> <p>来年度はいよいよ北陸新幹線福井開業の年を迎えることから、嶺北連携中枢都市圏の他市町や県、関係団体等と連携し、首都圏での認知度及びイメージの向上など、引き続きシティプロモーション活動に強力に取り組みます。</p> | | | | |

組織目標Ⅷ（Ⅰ） 人口減少に立ち向かうため、福井への新しい人の流れの創出・拡大に取り組めます

| | | | | | |
|---|---|---|---|-----|---|
| 11 | 人口の対流創出と人材還流の促進 |  |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>都市部の人材等が様々な形で本市と関係性を築き、深められる機会を作っていくことで、人口の対流を生み出し、将来的な移住定住にもつながる関係人口の創出・拡大を図ります。</p> <p>また、全国トップクラスを誇る本市の住みよさや充実した子育て・教育環境などの魅力のPRを強化するとともに、東京圏をはじめ全国からの移住を促進するための移住支援金や、若年女性、子育て世帯等への就職・移住にかかる支援など、人材還流に繋がる取組を推進し、U I ターン者の増加を目指します。</p> | | | | |
| | 取組内容 | <p>○関係人口の創出・拡大に向けた取組</p> <p>【福井とつながる対流拡大事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の若者と地元パートナー企業が事業創造を目指す「INTERWEAVE」の開催（10月～2月） ・多彩なテーマを対象としたトークセッションイベント「XSESSIONS」の開催（3月18日・19日） <p>【二地域活動・二地域居住の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外在住者等が市内でイベントやセミナーを開催し、関係人口の創出や地域活性化に寄与する活動への支援（3件） 【本市と県内外の人との結節点となる「ふくい関係案内人」の活用】 ・ふくい関係案内人と福井市応援隊の交流会の開催（1月29日） <p>○移住定住の促進に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住フェアへの出席 東京2回（10月23日、1月14日）、名古屋1回（10月8日）、大阪2回（7月31日、11月19日） ・福井県主催の相談会への参加3回（8月12日、12月3日、12月28日）、 ・社中学校の総合学習「福井市への移住・定住について」講演（10月28日） ・移住相談の実施（相談件数447件） ・移住支援金の実績（移住支援金東京圏型（10件）、移住支援金全国型（77件）） ・情報発信（雑誌（1回）、WEB（1回）） ・移住者交流会の開催（11月19日） | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計 画 | | | 結 果・成 果 | | |
| <p>①5 関係人口創出事業に関わる市外の人 の数 ：33人（3年度）→40人（4年度）</p> <p>①6 本市へのU I ターン者数 ：452人（3年度）→460人（4年度）</p> | <p>①5 関係人口創出事業に関わる市外の人 の数 ：44人</p> | | <p>①6 本市へのU I ターン者数：428人</p> | | |
| | <p>成果・課題</p> <p>都市部人材と地元企業が連携して行う事業創造や二地域活動・二地域居住につながる取組への支援等に取り組んだ結果、関係人口に関する目標を達成することができました。</p> <p>来年度は、これまで各部署で実施した事業で関わってきた都市部等の人材同士をつなげ、本市での関わりしるを上げていくことで、関係人口の深化につながるような取組を進めていきます。</p> <p>移住者の増加に向けて、支援制度の充実を図り、首都圏を中心に本市の魅力の発信に取り組ましましたが、全国的にみると本市の認知度はまだまだ低いいため、U・Iターン者数について目標を達成することができませんでした。</p> <p>来年度は、本市の魅力を強力に発信するとともに、移住後の不安や悩みの解消などトータル的なサポートを行うことで、移住定住を促進していきます。</p> | | | | |

| | | | | | |
|----|-----------|--|---|-----|---|
| 12 | ふるさと納税の推進 |  |  | 達成度 |  |
|----|-----------|--|---|-----|---|

実 行 内 容

行動目標 ふるさと納税制度の本来の趣旨を踏まえ、返礼品の充実を図るなど、本市の魅力的な地場産品を全国に情報発信し、継続的に応援していただける人はもちろん、新たな寄附者を獲得することで、本市のファンの増加を目指します。また、東京事務所等と連携して県外イベントでのPRを行い、ふるさと納税の更なる普及拡大を図ります。併せて、本市ゆかりの企業に企業版ふるさと納税制度を周知し、寄附に繋げていきます。

取組内容

○ふるさと納税のPR

- ・ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」及び「楽天ふるさと納税」のページ内に、本市を代表する返礼品の特集ページ等を掲載（5月、8月、9月、10月、1月、2月）
- ・東京事務所が発信するメールマガジンへの投稿や、ふるさとチョイス内の自治体情報及び返礼品情報の更新などによる情報発信
- ・本市への帰省に合わせ、ハピリンビジョンにて、寄附の呼びかけ動画を放映（8月11日～16日）
- ・返礼品パンフレットの作成・配布（10月～）、季節版返礼品チラシの作成・配布（夏版・冬版）
- ・福井市応援隊ミーティングにて、ふるさと納税及び返礼品のPR活動の実施（10月21日）
- ・パンフレット等の送付による過去の寄附者へ寄附依頼（11月）
- ・民間事業者へのふるさと納税業務委託の開始（12月～）
- ・東京都内で開催した本市の物産展等にて、ふるさと納税及び返礼品のPR活動の実施（6回）

○返礼品の充実

- ・地元企業への返礼品登録に向けた営業活動
- ・地元食材を使った食事券やお墓周りの環境保全等のサービス提供型返礼品を登録
新たな返礼品登録数：262品目

○企業版ふるさと納税の営業活動

- ・本市にゆかりのある企業への訪問及び制度説明
- ・企業版ふるさと納税マッチング支援業務委託の開始（12月～）

指 標

| 計画 | 結果・成果 |
|--|---|
| ふるさと納税寄附者数 : 12,058人（3年度）→ 14,000人（4年度） ふるさと納税寄附額：3億7,520万円（3年度） → 4億5,000万円（4年度） | ふるさと納税寄附者数：10,664人 ふるさと納税寄附額：3億4,564万円 |

成果・課題

ふるさと納税ポータルサイトでの有料広告をはじめ、東京都内でのPR活動など、様々な取組に努めたものの、物価高の影響等で家計にお得な返礼品が選ばれ、越前がにのように高価な返礼品の寄附が伸び悩んだ結果、寄附者数、寄附金額ともに目標を達成することができませんでした。



また、メディアやポータルサイトでの露出機会が減少したことも影響したと思われます。





来年度は、委託先の民間事業者と連携し、返礼品登録事業者の発掘や、寄附に繋がりがやすい定期便などの返礼品の開発を行っていきます。

併せて、本市のポータルサイトを閲覧してもらえよう、掲載する画像やページ構成などを見直し、魅力あるページにするなど、寄附件数及び寄附金額の増加に努めていきます。

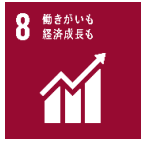

さらに、北陸新幹線福井開業を寄附拡大の契機と捉え、東京事務所と連携した福井にゆかりのある方への寄附依頼や、首都圏等でのPR活動など、取組を強化していきます。

組織目標IX（Ⅱ） 地域の特徴を活かした住民主体のまちづくり活動を支援し、活力ある地域社会づくりを進めます

| | | | | |
|--|--|---|------------------------|---|
| 13 | <p>地区ビジョンの実現につながるまちづくり活動の推進</p> |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | |
| 行動目標 | <p>各地区のまちづくり組織が、自ら地域の未来を考え、その実現に向けて取り組むまちづくり活動を支援するとともに、配置した地域担当職員が活動のサポートを行うなど、地域と市の協働によって課題解決や活性化を進めていくことで「持続可能で活気あふれるまち」を目指します。</p> <p>さらに、地区の「地域未来づくりビジョン」策定に向けた取組を支援するとともに、ふるさと納税を活用したクラウドファンディング（ガバメントクラウドファンディング）を通じた資金調達を支援することで、まちづくり活動を推進していきます。</p> | | | |
| 取組内容 | <p>○地域づくり事業への支援（地域の未来づくり推進事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域づくりコース」：47 地区 ・「ビジョン策定」：1 地区 ・「課題解決」：5 地区 ・「地域連携コース」：8 事業 ・「若手育成コース」：4 事業 <p>○まちづくり組織への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョン策定等に向けたお助け隊の派遣、地域担当職員と連携した相談対応（3 地区） ・ビジョン策定進捗確認及び制度活用意向調査の実施、及び、調査結果をもとに未活用地区に対して制度活用の呼びかけ（9～11 月） ・各地区のまちづくり組織が集まる場で地域づくり事業の制度概要や取組事例の紹介、制度活用の呼びかけ（3 月） ・ガバメントクラウドファンディング（G C F）による資金調達の支援（2 事業） ・来年度の G C F 活用に向けた相談対応（随時） ・来年度の制度活用に向けたオンライン説明会の実施（3 月） <p>○地区指定ふるさと納税の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P R 方法や制度周知の相談対応（随時） | | | |
| 指 標 | | | | |
| 計 画 | | | 結 果・成 果 | |
| 地域未来づくりビジョン策定地区数 : 29 地区（3 年度）→ 33 地区（4 年度） | | | 地域未来づくりビジョン策定地区数：30 地区 | |
| 成果・課題 | <p>地域の未来づくり推進事業「ビジョン策定コース」では、4 地区が新たに地区ビジョンの策定に取り組み、うち 1 地区が年度内に完成したものの、3 地区についてはコロナ禍で協議を十分に行うことができず、目標を達成することができませんでした。</p> <p>来年度は、策定中の 3 地区はもちろん、未策定地区への呼びかけや、ビジョン策定に向けた助言等の支援を行うことで、地域のまちづくり活動の活性化を推進していきます。</p> | | | |

| | | | | |
|--|--|--|-----|---|
| 14 | 持続可能な地域コミュニティ機能の保持、活性化 |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | |
| 行動目標 | <p>災害時の助け合い、子どもの見守りなどの防犯活動、地域の環境美化活動など、安全・安心で住みよいまちづくりの主体である自治会の機能保持や活性化を図るため、未加入世帯に向けた加入啓発を自治会連合会と協働で取り組むとともに、負担軽減、合併（グループ化）の推進などに取り組んでいきます。</p> <p>また、中山間地域には、地域集落支援員や特定集落支援員を配置し、コミュニティの状況把握を行い、機能保持や活性化の支援により、集落の存続に努めます。</p> | | | |
| 取組内容 | <p>○自治会未加入世帯への啓発強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入者や転居者に市民課窓口での「自治会加入のご案内」（チラシ）を配布し加入を促進（通年） ・加入啓発の手順を示した「自治会ガイドブック」を自治会長へ配布（4月） ・自治会未加入世帯への加入案内チラシの配布（9月24,25日：防災フェアにて） ・自治会加入を促す自治会標語の募集（7月～8月：応募総数約100点） <p>【自治会加入促進強化月間の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会による未加入世帯への加入案内チラシのポスティング（11月） ・期間中の新規加入者に粗品進呈、分譲マンション入居者等への加入促進活動の実施（11月） ・自治会加入啓発ポスターの作成と全自治会での掲示（11月） ・自治会加入促進動画をハピリンビジョンにて放映（11月） <p>○自治会負担軽減の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種委員会における取組経過の検証及び今後の負担軽減策の検討（2月） <p>○合併（グループ化）の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5世帯以下の自治会に対し、自治会合併の手順等の説明・協議（8月～1月：6地区14自治会） ・自治会合併に係る経費を支援（2件） <p>○特に高齢化が進んだ集落への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定集落支援員の活動報告会（9月26日） ・特定集落支援員の配置希望調査（10月） <p>○デジタル技術を取り入れた効率的な自治会活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市自治会連合会理事会においてデジタル技術を活用した自治会活動の研修会を実施（7月25日） ・殿下地区（モデル地区）内の全自治会でLINEによる連絡網構築（7月） ・自治会活動デジタル化促進事業補助金の創設（12月） | | | |
| 指 標 | | | | |
| 計画 | | 結果・成果 | | |
|  18 自治会加入世帯数：78,312世帯（3年度） → 78,400世帯（4年度） | |  18 自治会加入世帯数：78,033世帯 | | |
| 成果・課題 | <p>自治会未加入世帯への加入啓発として、新規加入者への粗品進呈や標語を用いたポスター掲示に取り組んだものの、国・県の官舎や市営住宅の取り壊しに伴う自治会の廃止もあり、目標を達成することができませんでした。来年度も、自治会長と連携し、未加入世帯に直接加入を呼びかけるとともに、転入時における加入手続きの簡素化など、更なる加入促進に努めます。</p> <p>また、自治会活動のデジタル化を進めるため、各地区の連合会長に対する研修会の実施や、新たな補助制度を創設するとともに、殿下地区をモデル地区として、地区自治会役員や自治会内でのLINEを活用した連絡網を構築しました。来年度は、これらの取組を市内全域に広め、役員等の負担を軽減するなど、自治会活動の効率化を進めていきます。</p> | | | |

組織目標Ⅹ（Ⅲ） 北陸新幹線福井開業に向けて、「ふくい」の認知度向上やイメージアップに取り組みます

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|--|-----------|---|-------------|------------|---|-----------|---|--------|---|--------|---|-----------|----|-----------|---|--------|---|----------|----|-------------|---|------------|---|-----------|--|
| 15 | 首都圏等に向けての戦略的な情報発信の推進 |  | 達成度 |  | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実行内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 行動目標 | <p>北陸新幹線福井開業に向け、首都圏等へ積極的に情報発信を行うことで、本市の認知度向上やイメージアップを図り、誘客や交流の促進につなげます。</p> <p>プロモーションの旗印であるイメージロゴ「福いいネ！」を活用して、市民や民間等と一体となって、あらゆる機会を通じて福井の魅力を発信していきます。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>○「#福いいネ」発信の呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントでPR【12件】（さくら市4/3、メロン祭り6/25、上下水道展7/24、水の駅式典8/28、福井×恐竜×戦国9/17、クラフトステーション10/15、環境フェア11/3、あげフェス11/12、越前若狭紅白味自慢11/26、もちもち満腹祭12/3、北陸新幹線ウェルカムフェスタ3/25、ふくい桜マラソンプレ大会3/26） ・出前講座でPR【8件】（羽水高校7/12、大東中学校7/13、社南児童館8/2、藤島中学校10/3、社中学校2/3、宝永公民館2/22、藤島中学校2/27、市連合婦人会3/12） ・大学連携事業でPR【2件】（共立女子大学4/21、福井大学7/1） <p>○「福いいネ！くん」の首都圏イベント等への参加件数【11件】</p> <table border="1" data-bbox="320 875 1481 1010"> <tr> <td>1</td> <td>J R上野駅出向宣伝</td> <td>5</td> <td>K I T T E</td> <td>9</td> <td>狭山スキー場</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>福井市応援隊</td> <td>6</td> <td>東京ガス物販フェア</td> <td>10</td> <td>東京新聞フォーラム</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>港区マルシェ</td> <td>7</td> <td>ふるさと祭り東京</td> <td>11</td> <td>葛西臨海公園水仙まつり</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>J R東京駅出向宣伝</td> <td>8</td> <td>けやきウォーク前橋</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○古市憲寿さんとのコラボによる動画・ポスターの制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・YouTube 動画「福いいネ！グランプリ」の公開(5/30～) ・東京駅でのポスター掲出（11/21～27）や、産経新聞東京23区版での全面カラー広告掲載（11/25） ・大宮駅デジタルサイネージで放映（11/7～3/5） <p>○民間企業等によるイメージロゴの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運送トラックへのラッピングやロゴを活用した商品制作、オンラインショップ「SUZURI」でのグッズ販売、LINEスタンプ販売など <p>○福いいネ！くん de 福井の魅力発信大作戦（1/11～2/12）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸新幹線沿線都市を巡り、住民とふれあったり地元メディアに出演するキャラバンPRを実施 ・東京新聞フォーラムの実施（2/4） <p>○北陸新幹線福井開業1年前イベント「福いいネ！北陸新幹線ウェルカムフェスタ」（3/24・25）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺自治体の大野市、勝山市、永平寺町と連携して実施し、北陸新幹線沿線都市の長野市も参加 | | | | 1 | J R上野駅出向宣伝 | 5 | K I T T E | 9 | 狭山スキー場 | 2 | 福井市応援隊 | 6 | 東京ガス物販フェア | 10 | 東京新聞フォーラム | 3 | 港区マルシェ | 7 | ふるさと祭り東京 | 11 | 葛西臨海公園水仙まつり | 4 | J R東京駅出向宣伝 | 8 | けやきウォーク前橋 | |
| 1 | J R上野駅出向宣伝 | 5 | K I T T E | 9 | 狭山スキー場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 福井市応援隊 | 6 | 東京ガス物販フェア | 10 | 東京新聞フォーラム | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 港区マルシェ | 7 | ふるさと祭り東京 | 11 | 葛西臨海公園水仙まつり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | J R東京駅出向宣伝 | 8 | けやきウォーク前橋 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | 指 標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p style="text-align: center;">計 画</p> <p>◎52 福井駅の年間乗降者人員 ：555万人（3年度）→754万人（4年度）</p> <p>Instagramでの「#福いいネ」 投稿件数（累計数）：26,911件（3年度） →50,000件（4年度）</p> <p>プロモーション特命係長「福いいネ！くん」の 首都圏イベント等への参加件数 ：3件（3年度）→8件（4年度）</p> | <p style="text-align: center;">結果・成果</p> <p>◎52 福井駅の年間乗降者人員 ：705万人（見込み）</p> <p>Instagramでの「#福いいネ」 投稿件数（累計数）：41,579件</p> <p>プロモーション特命係長「福いいネ！くん」の 首都圏イベント等への参加件数：11件</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果・課題 | <p>福井駅の年間乗降者数は新型コロナウイルスの影響で伸び悩み、またInstagramの投稿件数についても、県外まで拡大した投稿キャンペーンを実施しましたが、予想より低い水準で推移し目標を達成することができませんでした。</p> <p>一方で、福いいネ！くんと著名人とのコラボによる動画・ポスターの制作や、北陸新幹線沿線都市を巡るキャラバンPRなど、本格的な首都圏プロモーションを展開することができました。</p> <p>開業年度となる来年度も引き続き、様々な機会をとらえて首都圏等への戦略的な情報発信を推進するとともに、市民と一体になって開業に向けた準備を重ねながら、開業時に最大の効果が出るように取り組みます。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|----|-------------|--|---|-----|---|
| 16 | 市民等の機運醸成の促進 |  |  | 達成度 |  |
|----|-------------|--|---|-----|---|

実 行 内 容

行動目標

北陸新幹線福井開業を広く周知し市内全体での機運醸成を図るため、市民参加型の各種イベントなど様々な機会をとらえて積極的なPRに努めます。
市民をはじめ関係団体が一体となって、来訪者を温かくお迎えする「おもてなしプレーヤー」の育成や支援に取り組みます。

取組内容

○「福いいネ！くん」の市内イベント等への参加（36件）

| | | | | | |
|----|---------------|----|-------------|----|----------------|
| 1 | さくら市 | 13 | 水の駅式典 | 25 | 租税教室 |
| 2 | 映画おしよりんロケ | 14 | 福井+恐竜+戦国 | 26 | 越前若狭紅白味自慢 |
| 3 | 自転車安全啓発 | 15 | 防災センターイベント | 27 | もちもち満腹祭 |
| 4 | 新幹線ダンス | 16 | クラフトステーション | 28 | エコキャップアート |
| 5 | メロン祭り | 17 | 新九頭竜橋開通式 | 29 | カウントダウンボード |
| 6 | 福井刑務所撮影 | 18 | メモリアルラン | 30 | 春の火災予防運動 |
| 7 | セレンパネット撮影 | 19 | ケーブルフェスタ | 31 | 北陸新幹線ウェルカムフェスタ |
| 8 | 上下水道展 | 20 | オレンジリボン街頭PR | 32 | ふくい桜マラソンプレ大会 |
| 9 | 橘曙覧記念館撮影 | 21 | 新幹線駅舎見学会 | 33 | 大東中学校出前講座 |
| 10 | 日本商運ラッピングトラック | 22 | 環境フェア | 34 | 社南児童館出前講座 |
| 11 | 100万人のマーチング | 23 | 秋の火災予防運動 | 35 | 社中学校出前講座 |
| 12 | フェニックス祭り | 24 | あげフェス | 36 | 藤島中学校出前講座 |

○ボランティア・NPO・地域活動団体等とのミーティングや開業イベントへの参加（合計174人）

| 月日 | 団体等 | 人数 | 内容 |
|-------|---------------------|-----|---------------|
| 5/17 | 福井南ロータリークラブ | 4人 | まちなかの清掃活動 |
| 6/17 | 森田公民館 | 5人 | 新九頭竜橋開通式 |
| 6/21 | 福井芸術文化フォーラム | 11人 | 新幹線開業関連イベント |
| 7/4 | ふくい祇園まつり振興会 | 10人 | 沿線地区のおもてなし |
| 8/29 | 共立女子大学 | 27人 | おもてなしグッズの制作 |
| 9/20 | 朝倉氏遺跡保存協会 | 4人 | 新幹線開業関連イベント |
| 10/3 | 福井アーバンカード協同組合、駅前商店街 | 8人 | まちなかの清掃活動 |
| 10/19 | 田原町商店街 | 15人 | 新幹線開業関連イベント |
| 10/24 | 福井県文化振興協議会 | 3人 | 新幹線開業関連イベント |
| 12/2 | ハピリンモール | 3人 | 新幹線開業関連イベント |
| 2/15 | 科学技術高校 | 7人 | カウントダウンボードの発表 |
| 3/10 | 至民中学校 | 52人 | 福いいネ！切り絵の発表 |
| 3/25 | まなびサイト（キッズダンス） | 25人 | 開業1年前イベントへの参加 |

○新幹線すきすき大好きプロジェクト

- ・越前水仙ワークショップ（12/29、1/21、2/4：ハピリン）
- ・オーディオドラマ制作、発表（3/19：田原町ミュージズ）




指 標



| 計画 | 結果・成果 |
|--|--|
| プロモーション特命係長「福いいネ！くん」の市内イベント等への参加件数 ：21件（3年度）→ 32件（4年度） おもてなしプレーヤー育成事業参加者数 ：125人（3年度）→ 150人（4年度） | プロモーション特命係長「福いいネ！くん」の市内イベント等への参加件数：36件 おもてなしプレーヤー育成事業参加者：174人 |

成果・課題

市内の各種イベントや出前講座など、様々な機会を捉えて北陸新幹線福井開業のPRを行うとともに、ボランティアグループやまちづくり団体、企業、地域住民など、開業に向けておもてなし活動を担っていく方々との個別ミーティングやイベントで連携し、機運醸成を図りました。
来年度は福井開業に向けた総仕上げの年であり、市民の機運をさらに高めていくために、節目ごとのカウントダウンイベントを確実に実施するとともに、来訪者を温かくお迎えする「おもてなしプレーヤー」との連携を強化していきます。

組織目標XI (IV) 女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現及び若者の結婚への意識向上に向けた取組を進めます

| | | | | | |
|-------------|---|---|---|-----|---|
| 17 | 女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現 |  5 ジェンダー平等を 実現しよう |  8 働きがいも 経済成長も | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>女性がいきいきと活躍できる社会の実現のため、企業向けには、WEB診断システム「Fukurea（フクリエ）」の活用により、ワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、あらゆる分野でリーダー的役割を果たし、活躍できる機会の拡大を目指します。</p> <p>さらには、家庭における男性の家事・育児への参画を促し、女性の負担軽減を図るとともに、市民の男女共同参画意識の向上に努め、地域活動への女性の参画を促していきます。</p> | | | | |
| | 取組内容 | <p>○女性活躍応援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Fukurea 導入促進（通年）：導入勧誘企業数 53 社、導入企業数 25 社 ・Fukurea リーフレットの作成、配布（12～3月） ・働く女性の交流会（7・8・11月）：参加者 54 人 ・企業向けワーク・ライフ・バランスセミナー（7・8月）：参加者 28 人 ・家事・育児シェア見える化シート活用講座（7・8・9・1・2月）：参加者 120 人 ・ふくい家事いいネ！コンテスト 2022（10～12月）：応募件数 302 件 ・ライフデザイン出前講座（6～11月・8回）：参加者 195 人 <p>○市の審議会・委員会等委員への女性の参画拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性登用事前協議書の提出依頼（改選時）：49 審議会等 ・「女性登用率挑戦アップシート」を活用した女性登用促進策の協議（登用率 40%未達）：22 審議会等 ・女性登用率が数値目標に満たない審議会等を所管する部局長への働きかけ：9 部局 <p>○男女共同参画推進地域事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内 8 ブロック意識啓発事業（講演会、川柳コンテスト、小学校出前講座、朗読劇・座談会など） ・男女共同参画推進員 成果発表会（1月）：参加者 102 人 | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計 画 | | | 結 果・成 果 | | |
| 総 | 20 女性活躍などの取組が可視化できるWEB診断システム「Fukurea」の導入企業数（累計）：67社（3年度）→100社（4年度） | 20 女性活躍などの取組が可視化できるWEB診断システム「Fukurea」の導入企業数（累計）：92社 | | | |
| | 21 市の審議会・委員会等委員に占める女性の割合：33.5%（3年度）→40.0%（4年度） | 21 市の審議会・委員会等委員に占める女性の割合：34.4% | | | |
| 成果・課題 | <p>企業向けWEB診断システム Fukurea については、オンラインや企業訪問による個別勧誘 53 社のほか、働く女性の交流会や企業向けセミナー参加企業に対し、積極的に導入を促しましたが、導入に至っていない企業も一定数あり、92 社となりました。引き続き、今年度作成したリーフレット等を活用し、子育てファミリー応援企業やふくい女性活躍推進企業を中心に勧誘を進めていきます。</p> <p>また、働く女性を対象に、仕事と家庭を両立して働く女性によるパネルディスカッションや参加者同士で意見交換する交流会を開催しました。参加者アンケートでは全参加者から「自分らしく前向きに頑張りたい」と回答を得るなど、女性のキャリア形成意欲を高めることができました。</p> <p>さらに、市の審議会・委員会等委員の推薦元となる地域の各種団体に女性の委員が増えるよう、男女共同参画推進員の意識啓発活動や成果発表会等を通じて、女性の地域活動参画への働きかけを行ってきました。今後もあらゆる分野の意思決定過程に男女双方の視点が反映されるよう、地域における男女共同参画意識の醸成や地域活動への女性の参画拡大へ向けて、積極的に取り組んでいきます。</p> | | | | |

| | | | | |
|-------------------------------------|---|---|-----|---|
| 18 | 若者の結婚への意識向上 |  | 達成度 |  |
| 実 行 内 容 | | | | |
| 行動目標 | <p>若者の未婚化・晩婚化に歯止めをかけるため、誠実に結婚を希望する男女を対象に、様々な結婚支援を実施していきます。</p> <p>ふくい婚活サポートセンター「ふく恋」と連携し、身だしなみやコミュニケーション等の学びと出会いの場を提供する「婚活スクール」を開校します。</p> <p>また、今年度新たに、福井での結婚生活や子育てすることの楽しさ・魅力を発信し、若者が結婚に前向きなイメージが持てる意識を醸成します。</p> <p>これらの取組を通じ、男女の結婚意識を高め、出会いから交際、結婚に至るまで一貫した支援を行うことで、より多くの若者の結婚が叶えられるよう後押しします。</p> | | | |
| 取組内容 | <p>○婚活スクール 学びの場（婚活講座）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婚活スタートアップセミナー（5・9月）：男性参加者44人、意欲向上率93.2% ・婚活スキルを高める個別レッスン講座（6・7・10・11月）：男性参加者46人、意欲向上率100% ・わたし磨き Lesson（5・8・10・11月）：女性参加者60人、意欲向上率89.5% ・婚活に悩む方の意識改革セミナー（7・1月）：女性参加者23人、意欲向上率95.7% ・20代からはじめる未来デザイン講座・交流会（9・2月）：参加者22人、意欲向上率95.5% <p>○婚活スクール 出会いの場（婚活イベント）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恋するオトナ婚（7月）：参加者37人、意欲向上率100%、引合せ成立数20人 ・旅する!?オトナ婚（10月）：参加者24人、意欲向上率100%、引合せ成立数8人 ・恋するオトナ婚 Xmas（12月）：参加者38人、意欲向上率100%、引合せ成立数14人 ・恋するオトナ婚 in セーレンプラネット（1月）：参加者35人、意欲向上率94.3%、引合せ成立数13人 <p>○ふくい婚活サポートセンター「ふく恋」マッチングシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数1,359人のうち市内516人、交際人数121人 <p>○結婚っていいネ！魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材リポーター：学生・20代社会人7人、新婚・子育て世帯訪問（8～10月）：9軒 ・ホームページ・SNS・メルマガ・情報誌等発信（2・3月） | | | |
| 指 標 | | | | |
| 計 画 | | 結 果 ・ 成 果 | | |
| 結婚意識が明確になり、さらに結婚への意欲が高まった割合：90.0%以上 | | 結婚意識が明確になり、さらに結婚への意欲が高まった割合：96.0% | | |
| 成果・課題 | <p>今年度は、結婚を希望する独身男女を対象に、出会いから交際、結婚に至るまでトータルでサポートする「婚活スクール」を開校しました。結婚意識や婚活スキルを向上させる講座開催のほか、婚活イベントでは、男女55人の引合せ（連絡先交換）が成立し、福井市縁活お助け人（仲人ボランティア）によるイベント後の交際サポートやお見合い相手の紹介により、今年度はこれまでの事業参加者のうち3組から成婚の報告がありました。</p> <p>また、県と全市町で構成するふくい婚活サポートセンター「ふく恋」のマッチングシステムでは、市内会員のうち、今年度は15人が成婚に至りました。</p> <p>さらに、福井での結婚生活や子育てのしやすさを若者目線でとりまとめ、SNS、冊子等を通じて情報を発信しました。</p> <p>今後も引き続き、ふくい婚活サポートセンター「ふく恋」と連携して「婚活スクール」を開校し、出会いから交際、結婚に至るまで支援するとともに、結婚に関する情報を発信し若者が結婚に対して前向きになるよう意識の醸成を図っていきます。</p> | | | |